

報告書〔 9 〕 分析結果及びフローシート

10 ピリプチカルブ

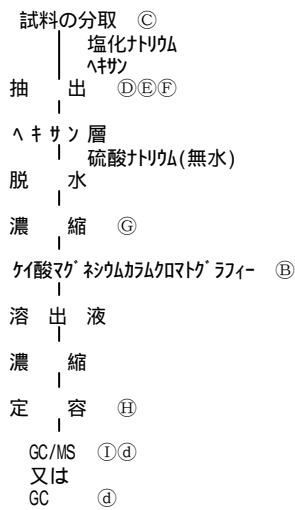
分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名		*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

< 溶媒抽出-GC/MS法 >
< 溶媒抽出-GC法 >



< 分析法等 >

分析法	① 1. 溶媒抽出-GC/MS 2. 溶媒抽出-GC/FTD又はGC/NPD 3. 溶媒抽出-GC/ECD 4. 溶媒抽出-GC/FPD 5. その他()
クリーンアップ	② 1. ケイ酸マグネシウムカラムクロマトグラフィー 2. ケイ酸土カラムクロマトグラフィー 3. その他() 4. 実施しない
試料量	③ () ml
抽出溶媒の種類	④ 1. ヘキサン 2. その他()
抽出回数	⑤ () 回
溶媒量	⑥ () ml / 回
濃縮方法	⑦ 1. KD 2. ロータリーエバポレーター 3. その他()
最終定容量	⑧ () ml

< 分析条件 >

機器型式(GC)	メーカー() 型式()
機器型式(MS)	メーカー() 型式()
測定質量数 GC/MS	① ()
装置型式	② 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
検出法	③ 1. SIM法 2. マクログラフィー
カラム型式	メーカー() 型式()
カラム形状	④ 内径() mm ⑤ 長さ() m ⑥ 膜厚() μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	⑦ 1. N ₂ 2. He 3. その他 ⑧ () ml / 分
試料注入部温度	⑨ ()
試料注入方法	⑩ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム
検出器温度(GC)	⑪ ()
追加ガス条件(GC)	⑫ 1. N ₂ 2. He 3. その他 ⑬ () ml / 分

< 検量線の作成等 >

定量方法	⑭ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質の種類() 添加量⑮ () ng
試薬(標準原液)	⑯ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー()
検量線	⑰ 作成点数() 範囲⑱ () ~ ⑲ () 単位 ⑲ 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) ⑳ 最高濃度のピーク高又は指示値()
試料溶液	㉑ ピーク高又は指示値()
グラフ	㉒ ピーク高又は指示値()

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----